

高齢びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者に対する

1st line としての

Pola+R-CHP 療法について

スケジュール

1~6 サイクル

リツキシマブ	375mg/m ²	d.i.v.	day2	
			(原法は day1)	
ポラツズマブ ベドチン(ポライビー®)	1.8mg/kg	d.i.v.	day1	
ドキシソルピシン	50mg/m ²	d.i.v.	day1	
シクロホスファミド(エンドキサン®)	750mg/m ²	d.i.v.	day1	
プレドニゾロン	100mg/body	p.o.	day1~5	21 日毎

支持療法として

Day1:内服アセトアミノフェン クロルフェニラミン ラモセトロン

Day2:内服アセトアミノフェン クロルフェニラミン

7,8 サイクル

リツキシマブ	375mg/m ²	d.i.v.	day1	21 日毎
--------	----------------------	--------	------	-------

支持療法として

Day1:内服アセトアミノフェン クロルフェニラミン

ポラツズマブ ベドチン

抗 CD79b 抗体にベドチン(微小管重合阻害)を結合させた製剤
(CD79b 抗原は B 細胞系に限定して発現)

薬価:30mg 約 29.8 万円,

140mg 約 136 万円

ガイドライン上の扱い

記載なし

治療効果

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者に対して

1st line での

Pola+R-CHP と R-CHOP を比較した(ポラツズマブベドチンと、ビンクリスチンとの違い)

第Ⅲ相試験(POLARIX 試験)

N=879

Pola+R-CHP vs R-CHOP

2 年 PFS(無増悪生存期間) 76.7% vs 70.2%

2 年 OS(全生存率) 有意差なし

副作用%(Grade3 以上)

Pola+R-CHP vs R-CHOP

末梢性ニューロパチー 52.9% vs 53.9% (1.6% vs 1.1%)

悪心 41.6% vs 36.8% (1.1% vs 0.5%) 味覚障害 11.3% vs 13.0% (0% vs 0%)

好中球減少 30.8% vs 32.6% (28.3% vs 30.8%) 発熱性好中球減少症 14.3% vs 8% (13.8% vs 8%)

貧血 28.7% vs 26.0% (12.0% vs 8.4%)

下痢 30.8% vs 20.1% (3.9% vs 1.8%) 便秘 28.7% vs 29.0% (1.1% vs 0.2%)

疲労 25.7% vs 26.5% (0.9% vs 2.5%) 脱毛症 24.4% vs 24.0% (0% vs 0.2%)

備考